自然エネルギー信州ネット臨時総会議事録

1. 日 時：平成23年11月7日（月） 14:00～16:00
 2. 場 所：信州大学工学部 信州科学技術振興センター 3階会議室
 3. 出席者数：52名
（理事・監事:9名・正会員:24名・準会員:13名・賛助会員:1名・傍聴者・同行者:5名）
 4. 審議事項
 - 第1号議案：平成23年度事業計画の変更について
理事より、その承認を求めたところ、全員一致でこれを承認した。
 - 第2号議案：平成23年度予算計画の変更について
理事より、その承認を求めたところ、全員一致でこれを承認した。
- その他：
・専門部会について
・地域協議会について

(参考)

専門部会に対する質疑応答

- 資料6にある「技術部会」とは、専門部会を指しているのか。(理事)
 - ・資料8にある、太陽光部会、水力部会、バイオマス部会、グリーン熱部会、マネジメント部会、ファイナンス部会の6つの部会の意味であり、便宜的に使用した。」8事務局長)

- 専門部会と地域協議会との関係がはっきりしない。(理事)
 - ・地域協議会で必要となる情報を提供するのが専門部会であるという形を理想としている。地域協議会から出された技術的な課題や要望について、該当する専門部会が検討していくという流れ。または、将来的には情報や人材を提供するなどして、地域協議会での事業化を支援するけん引役になるようなビジョンと考えている。(事務局長)

- 資料1の3つの委託事業について、その報告書は事務局が作成し、その責任を理事が持つのか。(理事)
 - ・最初の段階から綿密な事業計画、予算書を求められることから、現在その対応をしている。最終的な成果は、運営会議などで理事にも確認してもらおうと思う。事務局主導とならないよう、第3回運営会議で選出された部会世話人とも相談しながら、事業を進めていく予定である。(事務局長)

- 地域で自然エネルギーに関する取り組みを行いたいとき、依頼すれば、各事業の中で調査等をやっていただけるのか。(参加者)
 - ・各事業に対し依頼されても、実際にはまだ受ける状況ができていない段階である。地域のニーズ、要望を実現するのは、地域協議会の役割である。そこに参加していただき、ネットワークを活かし、情報交換しながら進める方法がひとつ。また、専門部会に投げかけ、検討してもらう方法がひとつ。今段階では、2つの方法が考えられる。(事務局長)
 - ・気軽に相談していただきたい。ただ、相談した内容をやってほしいとなると、その受け皿はまだ準備段階にあるという状況にある。(理事)

地域協議会に対する質疑応答

- 各地域での状況報告
 - 【諏訪地域】11月4日に設立総会、記念イベントを開催し「信州ネットSUWA」が設立した。当日は160名の参加があった。ネットワーク型で連携しながら進めていく形をとる。地域に即した会則を作成し、承認を得た。協議会入会者のうち30名が運営委

員であり、運営委員が運営に関わる。委員長は設立総会時に互選にて、沖野氏が委員長を務める。所属する 16 団体の活動の支援と、全体に関わることを進めていく。今までの活動の発展、情報の共有化を主旨としている。

【松本地域】：10月6日に勉強会を実施し、約70名の参加があった。地域での実践、活動内容を発表し、ワークショップ形式で今後の進め方、希望を意見交換した。勉強会后、メールリンクを立ち上げた。11月14日に理事、地方事務所との設立準備会の打ち合わせを行い、12月14日に設立準備会の予定である。

【上伊那地域】：8月10日に地域学習会を実施し、62名の参加があった。学習会では信州ネットの説明が中心であったことから、次回の学習会では地域での活動状況の報告等を行いたいと考えている。11月中に会則等の基礎をつくり、12月中の立ち上げを目指し準備を進めている。

【下伊那地域】：9月13日に地域学習会を開催し、ネットワーク型の協議会を設立する方向が見えた。今後、勉強会を行いながら準備を進めていく。また、事業型の協議会として、太陽光ゼロ円システムを飯田市以外の町村で実施する予定であり、事業に関わる方々と12月10日に準備会を予定している。ネットワーク型、特定事業型とも今年度中の立ち上げを目指している。両者の統合もあるかもしれない。

【長野地域】：7月11日に地域学習会を開催し、約70名の参加があった。その後、勉強会準備会を重ねてきている。11月17日には、長野北信地域協議会を設立予定である。参加者をこれから募集していくところ。また、NPO課の事業では3つの特定事業を須坂、長野、木島平で進めることとなっており、今後事業の具体化を図っていく。

【佐久地域】：9月1日に地域学習会を開催し、設立に向けた準備を進めている。

○地域協議会の動きがみえにくいとの意見があるのでは。地域協議会の情報をメーリングリストで流したり、今後の動きについてホームページ上にも掲載し、情報発信していけるとよい。情報の共有化が課題である。(理事)

○今回の会議が初めての参加であったこともあり、今回だけで全容をつかみ切れてはいないが、これから先、新たに参加する方もいる中で、当初からかかわっている人、理事、新たに参加する人において、理解の温度差が出てくると思う。この先もさらに温度差が広がり、初めて入る方にはハードルが高くなるのではないかと感じた。

今日の会議の内容も地域に持ち帰り説明するのは難しい。内容をシンプルにまとめてもらえないか。地域の、1主婦でも参加しやすいような形がよい。難しすぎると、地域でのエネルギー地産地消も進まないのではないかと。(参加者)

→・確かに、これまで何年も自然エネルギーに関わってきた人もいれば、興味をもち今から参加する人もいて、取り組みには差がある。ただ、何年も取り組んでいる人に追いつこうとしなくてよい。わからないことは、何でも相談いただきたい。相談

- いただければ、地域へ説明にもうかがう。ぜひ気軽にお問合せいただきたい。(理事)
- ・県も地域と連携して学習会を進める中でも、わかりにくいという意見をいただく。今後、マネジメント部会でパンフレットを作成するなど、わかりやすい情報発信ができるとうい。部会が立ち上がれば、人の派遣もできるようになる。いろいろな方法を検討していければと思う。(理事)
- ・来年度、県の温暖化防止条例の改正のため、現在内容を検討中である。政策作りを行う有識者の検討会、実績調査、ポテンシャル調査を現在進めている。加えて、政策に対するアイデアを近々募集する。温暖化対策につながる政策提言をお寄せいただきたい。実際に向かい合い意見交換も行う予定である。提案をぜひともお願いしたい。(理事)
- 情報発信について、会員に関する問い合わせ等もあることから、ホームページでの名簿等個人情報の公開可能範囲の意向調査を行いたい。メーリングリストにて確認いただく予定。公開により、地域ネットワークづくりに役立てられるものと考えている。(事務局長)